

# 立命館大学考古学論集Ⅳ 目次

九州南部における縄文時代中期前葉の土器編年	矢野 健一	1
長野市宮崎遺跡石器集中部の概要	長井 謙治	15
長野市宮崎遺跡出土の土製品	村上 昇	29
縄文・弥生集落の地域的展開 — 鮎喰川流域のフィールドから —	中村 豊	35
青銅器埋納の場所	中川 寧	47
国宝金印「漢委奴国王」の読み方と志賀島発見の謎	久米 雅雄	55
鈕文様を持つ鏡について	原田 三壽	69
朝顔形埴輪の誕生 — その成立と展開の背景 —	豊田 祥三	91
古墳時代における大和の玉作り	大岡 由記子	103
美濃赤坂「古墳群」の研究 — 視角への雑想 —	丸山 竜平	115
直弧文の成立過程	井上 一樹	131
低い石棚の考察	中村 修	155
歴史時代の鑄造遺跡とその変遷	神崎 勝	179

長岡京の祭祀	山 口 均	193
～精神の自知としての考古学～		
古代景観形態学の試み	中 塚 良	215
－長岡宮「宝幢」パースペクティブ実験を例に－	豊 田 裕 章	
高野山の大門に関する二、三の考察	丹 野 拓	231
古代末期の須恵器生産について	上 田 恵	241
－窯構造と生産器種からの検討－		
興福寺本『春日興福寺流記』の外題と翻刻	藪 中 五百樹	255
鳥取における山名氏の展開について	八 峠 興	281
近世鉛釉系陶磁器の窯について	木 立 雅 朗	295
－鳴滝乾山窯跡発掘資料を基点にして－		
ニヤ遺跡と後漢時代の合葬墓	李 遇 春	319
	(訳) 浅 岡 俊 夫	
植民地時代の考古学	李 基 星	353
－その認識と評価－		
朝鮮半島北部の滴水瓦	高 正 龍	367
－平壤普通門・大同門、義州統軍停所用瓦の検討－		